

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難訓練は年2回行っているが、近隣住民の参加が少ない。又、非常災害時の備蓄品の整備、避難場所の周知がされていない。	近隣住民にも参加してもらい避難訓練を実施する。 非常災害時の対応の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練に近隣住民の参加を呼び掛ける ・備蓄品のリストの作成・用意 ・避難場所の周知をはかる。 ・断水・停電時のマニュアルを作る。 	1年
2	33	終末期の希望を家族に確認がされていない。	看取り看護に関しての説明を行い、家族の希望を確認すると同時に、看取りに関する研修を始める。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する研修体制を作り、職員の意思統一へと繋げる。 	1年
3	4	運営推進会議の議事録等が配布されておらず家族にグループホームの活動や運営推進会議の事が周知されていない。	運営推進会議の内容を明確にし、運営の透明性をはかる。又、より多くの家族に運営推進会議に参加してもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の資料を、参加出来なかった家族へ送付する。 ・運営推進会議に参加してくれるよう声を掛ける。 	1年
4	38	出来る限り本人のペースを尊重してはいるが、業務が優先し1人ひとりのペースが守られていない所がみられる。	業務優先にならずに利用者の希望に沿ったケアを提供していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意向の確認を随時行う。 ・ケア会議・朝のカンファレンス等で話し合う。 ・業務優先にならないようお互い声を掛け合う。 	1年
5	19	担当制を取り入れ家族との信頼関係の構築をはかっているが、まだ充分とは言い切れない。	家族との信頼関係を深め、より良いケアに繋げていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族へ定期的に担当スタッフからお便りや電話を通じて利用者の状況をお知らせする。 ・家族来訪時には、これまでの生活歴等の話を聞き、それをケアに繋げていく。 	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。